

ECO満載！はっぴいトライアングル・第6回子育て交流会！

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2007年04月11日

品川区にお住まいのリンクママさんからの投稿



しながわの子育て系自主グループなどが集まってみんなで作るお祭りです。
子どもオトナも、一緒に楽しんじゃおう！遊んじゃおう！ECOしちゃおう！
⇒校庭では...なんとビオトープで魚釣り！
ダンボールで作るスモークチーズ！
⇒体育館では...フリーマーケット！
■日時 4月22日(日) 11:00～15:00
■場所 区立浅間台小学校・体育館&校庭(大井町駅より徒歩8分)

【管理者から】

参加団体数31！楽しい仕掛け満載です！

新緑の美しい季節、お子様と一緒に出かけたいはいかが？

※この記事は「親子で行ってみよう！」からの転載です。

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2007年04月11日

包装はないものを最優先し、次に最小限のもの、容器は再使用できるものを選ぶ

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2007年04月21日

グリーンコンシューマー原則

包装はないものを最優先し、次に最小限のもの、容器は再使用できるものを選ぶ



容器・包装材とは商品が入っているびん、紙箱、プラボトル、プラケース、缶類、トレイやレジ袋等のことです。

昔、私が子供の頃牛乳はびん入りで宅配、豆腐は鍋やボールを持って買いに行き、やおやでは、はだか売りのやさいを新聞紙の袋に入れてくれました。

そのうち、日本が高度経済成長期を迎え、石油を原料とするプラスチック製品がどんどん出回り、スーパーマーケットの進出に伴って、トレイ入りでパックされた肉、魚、野菜が並び、売り方も対面販売からレジで一括して支払う方式が普及してきました。レジ袋も無料で配布され、消費者にとって効率的で便利なこの方式が実は資源の大量消費やダイオキシン汚染、ごみ問題へとつながっていったのです。近代化の果てには環境問題がありました。

容器・包装材の原料となる石油やアルミなどはほとんどを外国からの輸入に頼っています。これらは商品を包んだり、保護する役目がありますが、使い終わったら不要になるものです。私は肉や魚、野菜など対面販売をしているお店で買うようにしていますが、ここ10年でそんな店はどんどん減っています。その点共同購入の形態は不要な容器・包装材が少ないメリットがあります。

我が家では千葉の三芳村から自然農法の野菜を毎週、生産者に届けてもらい、皆で分けるので包装はゼロです。牛乳は群馬の東毛酪農から共同購入しているので、リターナブルびんは返却して何度も再使用します。醤油もソースもびん入りを買っています。これは環境に良いだけでなく、プラスチック容器よりびんのほうが中の品質が保たれ、味も良く安全です。プラスチック容器は微量ながら、中の食品に容器の成分が溶出する心配もあるからです。

シャンプーやリンスや洗剤など最近は詰め替え用がほとんどあり、価格もボトル入りより安いので消費者にも浸透しているようです。でも大切なことは使い過ぎないこと、少量を大事に使い、長持ちさせることが家計にも環境にも良いのです。我が

家は石鹸シャンプーと粉せっけんですが、使う量に気をつけているのでどれも長持ちします。ちなみにリンスは酢を使っています。

レジ袋の有料化にむけてある区で実験取組みがされていますが、何と80%以上の方が袋を持参するようになったそうです。たとえ5円でも出したくないのが消費者の心理です。その心理をうまく利用したこのシステム、このような経済的インセンティブをうまく導入すると社会は変わっていくでしょう。

たかがレジ袋ですが、年間305億枚使われており、国民一人当たり（乳幼児は除く）300枚／年使っている計算です。これをなくせば約56万キロリットルの石油の節約になるとの試算もあります。

この4月から改正容器・包装リサイクル法が施行され、小売り業者にレジ袋の削減目標の設定や取組み報告を義務づけています。

一度もらったレジ袋は何回か再使用し、気に入ったマイバックを愛用すれば、今話題の『ロハス』に仲間入りです。

LOHAS

「Lifestyle of Health and Sustainability」の頭文字を取った造語。90年代末、米国の社会学者らが「伝統派」「近代派」に続く第3の市民層として存在を唱えた。日米欧では国民の2,3割を占めるとみられ、マーケティングの観点から注目されるようになった。健康や環境だけでなく、政治、経済、文化、地域社会などへの意識も高いとされる。日本では一時、商標権をめぐるトラブルになったが、現在は一般名称化している。

（出典 朝日新聞 2007/3/17）

カテゴリ: 平成19年度

投稿日: 2007年04月21日

区役所屋上で幼稚園児が田植え

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2007年05月19日

5月16日水曜日、品川区役所の屋上庭園で、二葉幼稚園の子どもたち15人が田植えを行いました。これは、日ごろ田植えをしたことのない都会の子どもたちに土に触れる楽しさを知ってもらい、大切なお米がどのように育つかを楽しみながら学んでほしいと企画されたものです。

区役所屋上（総合庁舎・第二庁舎）には、都市部のヒートアイランド現象の緩和等を目的に庭園が設けられており、開庁日の午前9時から午後4時まで一般公開されて区民の憩いの場になっています。

植栽の世話や水遣りは、区の職員ボランティアが昼休み等を利用して行っており、季節の草花や各種ハーブ、野菜などを育てています。第二庁舎屋上にある田んぼもそのひとつ。大型プランターにビニールシートを敷き土と水を入れた即席の田んぼで約10◇あります。屋上の田植えは3回目になりますが、即席の田んぼとはいえ、秋には5kg程度のもち米が収穫できます。



田植えは子ども達にとっては初めての経験です。屋上に到着した子ども達は、職員ボランティア手作りのかかしを見て歓声をあげたものの、田んぼを見つけると「気持ち悪い」「どろどろしてる」と困った表情。「いつも泥んこ遊びしてるでしょ」と先生に話しかけられても、大きな田んぼは勝手が違った様子です。ところが、いよいよ靴下を脱いで田んぼに足を踏み入れると「冷たくて気持ちいい」「つるつるしてる」と困った表情はすっかり消え、あっという間に笑顔が戻りました。



苗の持ち方や植え方を教えてもらい、苗を5本ずつ束ねて順番に初めての田植えをします。

こわごわ植える子、泥の中まで植える子など様々でしたが、「沈んじゃうと稲も息ができないよ。じょうずにできたね」との職員のアドバイスを受けて、全員がきれいに苗を植えることができました。



バケツで手足を洗ってもらおうと、「面白かった。田植え大好きになっちゃった」と、すっかり一人前の気分です。最後はかかしに「秋の収穫また来ます」と挨拶しました。

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2007年05月19日

あぐに島自然体験学習ツアー

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2007年06月22日

東京都にお住まいの環境情報活動センターさんからの投稿



環境学習講座「沖縄・粟国の人々に学ぶスローライフ」の講師をつとめてくださいました名本光男先生より、あぐに島体験ツアーのご紹介です！

- ・塩づくり体験
- ・追い込み漁体験
- ・漂流物アート体験

「自然・伝統文化にふれることによって、私たち日本人がいにしえより保持し続けてきた、自然に対する畏敬の文化に想いをはせてほしい」

そんな願いから企画されたツアーです。

【管理者から】

都会では出来ない貴重な体験がいっぱい！

今年の夏休みは、あぐに島に忘れられない思い出を作りに行きませんか？

※この記事は「親子で行ってみよう！」からの転載です。

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2007年06月22日

ECOフェスティバル2007 レポート

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2007年06月23日

平成19年5月27日、しながわ中央公園をメイン会場に、「しながわECOフェスティバル2007」が開催され、汗ばむ陽気の中、21,700人の方々が訪れました。

「地球の未来のために・・・今はじめよう」のスローガンの元、集まった団体の数102、フリーマーケット50店。そのほんの一部を写真と共にご紹介していきます。

<展示ブースから>

●大井ふ頭海浜中央公園「なぎさの森おーいにボランティア」

なぎさの森を地域に愛される森に育てるため、平成14年9月に活動を開始。現在、30名程の方々が、毎月、森と干潟の自然再生や、清掃などの活動に汗を流しています。



葉っぱでできた精巧なバツタ！作り方を講師が丁寧に指導します。

●清泉女子大学「五反田綺麗にし隊」

毎月第三日曜日、五反田駅周辺の清掃と花植えをしています！活動を通して、地域や商店街の方々、企業の方々とコミュニケーションをとり、地域の活性化に努めています。



●株式会社ニコン大井製作所

いつも大人気！手作り虫めがねの作成と、顕微鏡での自然観察。



●N P O法人エコタウンしながわ
えんぴつブローチの作成、蝶の道プロジェクトの紹介、花海道で採れた菜の花の種の配布など盛りだくさん。



●荏原西保育園
不用品をリサイクルして愉快なおもちゃをつくる、その発想の豊かさに感心してしまいます。荏原西保育園では、毎月、「ごみの分別ゲーム」や「電気のふしぎクイズ」などを通じて、楽しく環境について学ぶ時間を持っています。



リサイクルクラフトの講座です。子ども達に大人気！

●西中延保育園
こちらの保育園も環境教育にとても力を入れています。写真の紙すき体験も、毎月の環境教育で園児と一緒に取り組んだものの一つです。「地球はみんなのものだから」という創作劇にも取り組み、発表しました。



●品川こども劇場

空き缶を利用した万華鏡、チラシとレジ袋を使ったフリスビー



●勝島運河倶楽部

ロープワーク講座や活動記録の展示。ゴムボートには次から次へと子どもが乗り込みます。



●品川エトワール女子高校

廃油せっけんの展示、アンケート。試験期間中のエトワールの生徒に代わって、大崎高校の学生がボランティアで立ち会います。



●大井倉田児童センター

ペットボトルの水族館！とっても綺麗です。



●杉野学園ドレスメーカー学院
エコバックの提案。センスがキラリと光ります。



●バンブーオーケストラ
竹が奏でる多彩な調べ。野外でゆったりと音に耳をすませば、まさにヒーリングエコです。



●工学院大学 建築都市デザイン学科 中島研究室
シナモニ（品川区環境モニタリングシステム）の紹介
シナモニのホームページ→<http://www.shinamoni.jp/web/>
ECOトピックス記事→「シナモニをご存知ですか？」



●智工房
彩色して自分だけの陶器をつくります。



●クリーニング今福
EM菌を使用した環境にやさしいクリーニングに取り組んでいます。



EM（有用微生物群）石けんの紹介など

●ごみの中からこんな物展

まさにこんな物が！抽選で当たりました。



●こどもエコクラブ「空の会」

エコまる君も大活躍！ふろしきのデザイン大賞受賞で壇上にも。



●ゴミの分別もしっかりと！

立正大学のボランティアのみなさん



<ステージ>

●伊藤チャイム

レジ袋はここまで使える！ストレッチからリトミックまで会場も一緒に楽しみました。



●大井権現太鼓保存会

荘厳！



●朋優学院高校「エコレンジャー」

大人気のエコレンジャー。ゴミの分別クイズで小さな子どもと一緒に学習。



●「エコライフ」啓発ポスターコンテスト

◇最優秀賞 「放ってはおけない」 柴田 良雄さん



●「もったいない風呂敷」の新しいデザインコンテスト表彰式

◇最優秀賞 「地球ECO」 空の会



●Love & Peaceコンサート

フィナーレをかざります。ECOよ永遠に・・・



カテゴリ：平成19年度

投稿日：2007年06月23日

シナモニ（品川区環境モニタリングシステム）をご存知ですか

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2007年07月07日

熱い夏が近づいている今日この頃だからこそ、知っていただきたい「シナモニ」。品川区内18箇所に気象計測機器を設置して、シナモニのホームページで計測データを公開しています。また、ヒートアイランド対策の紹介やその効果を、写真やグラフ・図を駆使して、視覚的にわかりやすく表示しています。

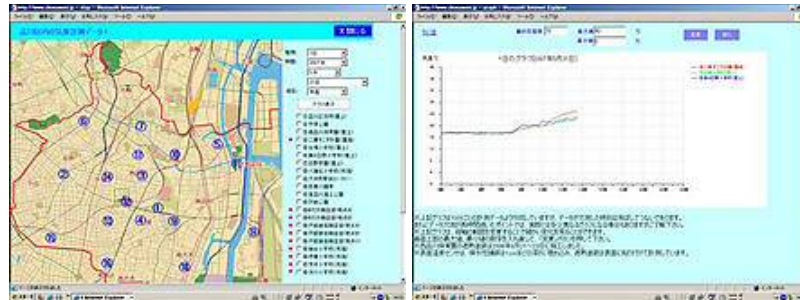
『涼しさ回復プロジェクト』と題されたこの研究事業を品川区環境課や企業と共同で行っているのが、工学院大学建築都市デザイン学科 中島研究室のみなさんです。



● 都市環境モニタリング事業

・シナモニ計測ポイント

シナモニでは、地表面仕上げの違いがヒートアイランド緩和効果に大きく影響するということを知っていただくために、駅前ロータリーのアスファルト舗装や公園の土などを測り、比較しています。また、環境学習教材としても活用できるように、小学校の屋上緑化や校庭の芝生なども測っています。



計測箇所を選択→グラフ表示

・シナモニシステム概要

区内のネットワークである庁内LANを活用し、遠隔地で計測したデータをデータサーバに収集、WEB上に公開されます。WEB上はいつでもリアルタイム表示です。



庁舎屋上計測器／目黒川護岸計測器

風向・風速・気温・湿度・日射量・降水量などを計測

●品川区で実施しているヒートアイランド対策の紹介

・緑化事業、保水性舗装、遮熱性舗装、高反射性塗料、ドライミストなどの実施箇所のマップを閲覧できます。普段は何気なく通り過ぎてしまい、あまり意識することはありませんが、地域のいたるところでヒートアイランド対策が実施されています。



区の対策場所マップ／平塚公園の保水性ブロック塗装

●家庭でできるヒートアイランド対策の紹介

ご家庭でもできることはあります。打ち水など、簡単にできるヒートアイランド対策を紹介しています。

募集ページもありますので、ここで紹介しているもの以外で、皆さんが家庭で実践しているヒートアイランド対策があれば、是非投稿してみてください。



ホームページでは、この他にもヒートアイランド現象とその対策についての情報が、かわいいイラストとともに掲載されています。熱中症対策や環境学習教材、夏休みの宿題などにも使えますので、是非ご活用ください。区民みんなで地域の涼しさ回復に取り組んでいきましょう。

『シナモニ』ホームページ

<http://www.shinamoni.jp/web/>

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2007年07月07日

カキの水質浄化実験！参加者募集中

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2007年10月23日

品川区にお住まいの環境情報活動センターさんからの投稿

▲資料を参照(pdf形式 / 約369KB)

「カキをつるして実験スタート！」参加者募集！

お台場海浜公園内の「カキの水質浄化実験施設」をみんなで完成させましょう。カキのカーテンを吊るすお手伝いをして下さる方を募集します。そのほか、お台場の海の観察やカヌー体験なども行います。ふるってご参加下さい！

日時：平成19年10月27日(土)

11時～16時(小雨決行)

場所：お台場海浜公園おだいばビーチ

【管理者から】

カキの美味しい時期ではありますが・・・

貝には水質を浄化する機能があるのです。

実験を通して学ぶ、よい機会ですね。

※この記事は「親子で行ってみよう！」からの転載です。

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2007年10月23日

エココン特集 グランプリは・・・!?

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2008年01月14日

さてさてエココン特集も今回が最後になりました。12月27日に最終選考が行われ、26日の64の団体から8団体が最終選考に選出されました。最終選考はオリンピックセンターの大ホールで行われ、学生はもちろん環境に関心のある一般の方も大勢見学しに来ていました。



グループ選考から選出された団体が様々な活動を発表されていました。(左は九州の学生団体TEAM LIFE、右は信州大学里山ボランティアサークル洞楽村)洞楽村さんは里山を生かしたボランティア活動を、TEAM LIFEさんは環境に関することをラジオを使って発信する「エコラジ」という活動をしていて、両団体ともとても魅力的な活動内容でした。



各団体の発表が終了した後は、参加団体、選考委員、会場の見学者も交え各団体の活動に関する意見交換が行われました。



最終選考は選考委員によって行われ、会場の人達は1票を持って「会場賞」ということで選出しました。ちなみにこの会場賞を受賞されたのは先に紹介したTEAM LIFEさんです。



そしていよいよグランプリの発表です。グランプリ・環境大臣賞を受賞されたのは・・・東京大学の学内団体「6類エコプロジェクト-環境クイズ作成委員会」です！！

この団体は名前の通り環境に関するクイズを作っているのですが、ただ作るのではなく募集もしていて学内の掲示板や社などでクイズを募集し、多くの人と一緒に作りあげています。そのクイズの発表場所は環境省と企業と提携して、携帯サイトで行い多くの人に無料で楽しんでもらっているそうです。環境問題というとつきにくい問題に対してゲーム感覚で楽しく学べるのがポイントで、一万人以上の人々に環境問題を学んでもらっているそうです。あの小池元環境省大臣もやっていたそうです！「環境問題をゲーム感覚で楽しく学べる」とても面白い取り組みです。みなさんもクイズに挑戦してみたいと思ったら携帯で「エコトレ」と検索してみてください！！



グランプリを受賞した6類エコプロジェクト-環境クイズ作成委員会の佐々木さんにお話をお聞きしたところ、今回のエココンで何より多くの人達に対して自分たちの活動がスピーチ出来たのが嬉しかったそうです。そして色々な人達からアイデアを貰えたのが活動のプラスになりそうとおっしゃっていました。

この「6類エコプロジェクト」は環境クイズ以外にも様々な活動をしていますのでもっと詳しく知りたい！という方はこちらにアクセスしてみてください↓

<http://www3.to/rep>



このようにして昨年の12月26日、27日と行われたエココンは幕を閉じたのですが、みなさんいかがだったでしょうか？全国にこんなに環境問題に真剣に取り組む学生がいるのかと驚きませんでしたか？

私は今回取材していて発表を聞いているだけでもとても楽しく、色々な活動を知れて本当に良かったと思っています。このように環境問題に熱心に取り組まれている方が大勢いるのですが、これがさらに多くの人に広がっていき、私たち一人ひとり

が環境問題に真剣になって向き合っていくことが重要なのだと思います。私たち品川区環境情報活動センターでも区民の方はもちろん多くの人に環境問題について考えてほしいと思っています。環境に関する活動を何かしてみたい！環境問題に対してもっと知りたい！等等環境に関して何かしらアプローチしてみたいと思ったら是非センターをご利用下さい。

環境問題は地球規模の問題ですが身近なところから行動することが何より重要です。そしてエココンに出場されていた全ての団体さんに共通していたように「楽しく」私たちもエコに取り組みましょう！それでは5回に渡って特集してきた「エココン特集」ですがこれで最終回とさせていただきます。ありがとうございました！

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2008年01月14日

エココン特集 団体紹介?「おしゃれにエコを! OSHARECO map 作成会」

カテゴリ: 平成19年度

投稿日: 2008年01月14日

さてさて、団体紹介3組目は名古屋を中心に活動する学生団体OSHARECO map 作成会です!

この団体は、「3Rより2R」をテーマにReduce、Reuseに注目し、「使い捨て」という消費行動をエコマップでおしゃれに変えてしまおうというのがOSHARE+ECOでOSHARECO map 作成会(以下OSHARECOさんで失礼します)です。



OSHARECOさんは今大会で入賞に輝き、その活動内容も素晴らしいものでした。活動のきっかけは、名古屋の大須商店街にてグリーンコンシューマー目線で街を探索し、給茶スポットを見つけたのが始まりで、マイボトルを使うことの出来るお店等エコなお店をマップに掲載しています。現在ではそのOSHARECO mapを置いてくれるお店等も増え、手応えを感じているそうです。取材時に伺ったのが「消費者意識を変えていくことが環境問題を解決していくためには重要」ということで正にその通りだと思いました。「一人の一步より百人の一步」を目指しているということで、OSHARECO mapがどんどん街に広がっていき、環境意識の高い消費者が一人でも多くなればと思います。



一日目のグループ選考の直後で、慌しい中取材に応じて頂きありがとうございました。今後の活動に期待しています。

カテゴリ: 平成19年度

投稿日: 2008年01月14日

エココン特集 団体紹介?「ForestNova☆」

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2008年01月14日

団体紹介 2 組目は「ForestNova☆」です！このサークルは首都圏の大学が集まって出来た学生連合サークルで、「森と人の共助共生があたりまえになる社会を目指す」ということを目的に活動しているサークルです。「森をつなぐ」「森をつくる」「森をいかす」「森を知る」という方針を柱にNPO法人緑のダム北相模のフィールドで活動を展開しています。



具体的な活動内容としてまず先に触れた「森をつなぐ」に関してホームページの作成はもちろん、大学生に対するキャンプも行っていて都市と森をつなげる活動を行っています。次に「森をつくる」活動に関しては、新しい森の経路づくりやチェーンソー講習も受け、積極的に森林整備に取り組んでいます。「森をいかす」活動は間伐材から木の時計やベンチなどを作成し、間伐材に付加価値を付けてイベント等で販売しているそうです。この活動で得られた利益は森林整備の資金に充てています。最後に「森を知る」活動は、自分達がどんなことを学んできたのかを振り返り、今後の森づくり活動に活かすようにしているそうです。



ForestNova☆のみなさん、当日は選考でお忙しい中取材に応じて頂きありがとうございました。今後の活動に期待しています。

ForestNova☆の活動がもっと詳しく知りたい！という方はこちら

↓

<http://midorinodam.jp/forestnova/>

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2008年01月14日

エココン特集 団体紹介?「沖縄大学エコキャンパスクラブ」

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2008年01月14日

さて特集しているエココンですが、発表団体の紹介にいきたいと思います！1組目は南は沖縄からやってきた沖縄大学の学生サークル、「沖縄大学エコキャンパスクラブ」です！このサークルは学園祭でゴミを減らす活動を中心にエコツアーまで手がける、沖縄の豊かな自然を愛し、環境活動に熱心に取り組むサークルです。



エコキャンパスクラブは2001年に沖縄大学が「エコキャンパス宣言」をしたことから、同じ年に「学生の立場からも自主的に環境に対して活動したい」ということでサークルが立ち上がりました。

エコキャンパスクラブの具体的な活動内容として、学園祭や地域のイベントでDRP (Dish Return project)お皿の洗いまわしを実践し容器ゴミを減らす活動をしています。

また、エコツアーの活動ではマングローブ林を観察したり、古宇利島を探索したそうです。このエコツアーは大人気で、参加人数に応えられないこともあるそうで、そのツアーの企画や規模を今後どうしていくかが課題になってくるということでした。



今後は、今の活動を沖縄全土に広げていき、沖縄の環境保全に貢献したいということで、是非頑張ってほしいと思います！取材に応じて頂きありがとうございました。

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2008年01月14日

エココン特集 ～エココンってなに？～

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2008年01月14日

みなさん新年あけましておめでとうございます。さて今回はエココン特集ということで、センターの石井が数回に分けて特集させていただきます。まずこの「エココン」とは何なのかというと「全国大学生環境活動コンテスト」の総称でエコな団体のコンテストのことなのです！このコンテストは去年の暮れ、12月26日、27日の2日間に渡って国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催されました。

1日目は予選のグループ選考、2日目は最終選考ということで、北は北海道から南は沖縄まで64の学生環境団体が集まり行われました。エココンの選考に当っては、企業やNPOに勤めている方や、行政や大学に勤めている方等様々で、この選考を通じて自分達の活動を多くの人達に伝えることはもちろん、今一度自分たちの活動を見直し、全国の団体と交流することを通じて様々な情報交換を行い、学生の環境活動を活性化させていくことが開催主旨だそうです。



エココンは多くの学生スタッフにより作られており、当日も皆さん一生懸命スタッフとして働いておりました。選考の中でスタッフの方が各団体の活動内容やキーワードをホワイトボードにまとめている場面です。



学生スタッフの他にも環境分野で活躍する社会人の方や大学関係の方が選考委員として活発な意見交換が行われていました。

このレポート第一弾は、このスタッフである芳賀知大さんにお話しをお聞きしたので、紹介したいと思います。芳賀さんはエコ・リーグという環境NGO団体にも所属していて、それがきっかけで大学1年生の時にエココンに参加し、大学生が大きなイベントをやっていることに対して魅力を感じ、スタッフをするようになったそうです。エコ・リーグとしてこのセンターにも来たことがあって、取材をした私とは顔馴染みの人でした。



芳賀さんは環境に対して意識が低い人や大学生の強みに気づいていない人達に対して、色々な人と触れ合って新しい自分を見つけてほしいとおっしゃっていました。今回のコンテストを通じて、各団体が環境活動を自己満足で終わらせることなく、社会貢献に繋げていってほしいということが今の願いだそうです。環境活動に大切なことは「自分達の活動に誇りを持つこと、後ろめたい気持ちでやるのではなく、環境問題の解決に貢献したい意識をもつことが重要」ということでとても共感できるお話でした。当日はスタッフの仕事で忙しい中、取材に応じてくれてありがとうございました！

カテゴリ：平成19年度

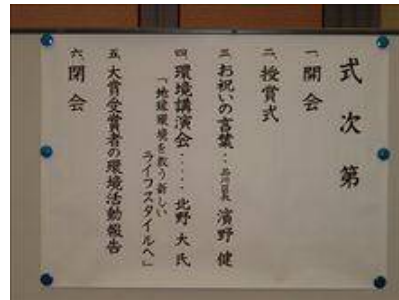
投稿日：2008年01月14日

環境講演会&しながわ環境大賞授賞式

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2008年02月28日

平成20年2月16日に品川区立総合区民会館「きゅりあん」7階イベントホールにて「環境講演会&しながわ環境大賞授賞式」が開催されました。



今年度で二回目となる「しながわ環境大賞授賞式」では区内で優れた環境活動を行っている団体への表彰を行う品川区主催の環境イベントです。



先着200名様にマイ箸袋プレゼントや会場前ではウッドチップの配布も行われていました。



開場の30分以上前から待つ方もいるほど、沢山の方々がご参加くださいました。

【第一部 しながわ環境大賞授賞式】

受賞団体は次のようになりました。

「第二回 しながわ環境大賞受賞団体」(式次第参照)

1. しながわ環境大賞受賞

●コベルコ建機 「環境保全活動～花壇の手入れや美化活動を通じて地域へ貢献～」



大崎駅の前からキャッツシアターに続く道路沿いの花壇の手入れや、地域ボランティア主催の「お花いっぱい大崎」活動等への積極的な参加を通じて、環境貢献について地域参加を促し、他企業への協力の輪を広げる活動。

●**清泉女子大学 福祉環境委員会 「五反田綺麗にし隊」**



「学校と地域の顔が見えるお付き合い」をモットーに、「五反田綺麗にし隊」として地域商店街や企業の方々とともに地域の清掃活動や花植え活動を積極的に行っている。また、しながわECOフェスティバル等に参加、広く区民のかたへの環境啓発活動を積極的に行っている。

2. 環境賞受賞

●**荏原二丁目町会 「資源再生・活動運動」**

古紙回収をはじめ、美化運動、ポイ捨禁止運動、清掃など、町全体で活動

●**花のボランティア むつみ会 「みどりのボランティア」**

平成16年度から休まず公園の清掃や花壇の手入れ、花うえボランティアの活動

●**八潮北小おやじの会 「校庭の芝生維持・管理」**

学校の芝生化を通じて、芝生の管理をはじめ地域を巻き込んだ環境活動

●**品川ブロックPTA 「ぼくたち・わたしたちができるエコライフ」**

チャレンジャーシート等による家庭でのエコの実践など、環境意識向上をめざす活動

●**区立 西中延児童センター 「毎日がアースデイ！」**

屋上緑化や自然保護活動、自主グループによるリユース活動などエコ推進活動

●**区立 源氏前保育園 「環境教育の取り組み」**

子どもや保護者を対象に資源の大切さ等の意識向上をめざした環境教育

●**区立 品川小学校 「環境コミュニケーション作りへの取り組み」**

駅前の花壇作り等を通じて緑化環境の整備や地域と一緒に活発な環境活動

【**第二部 環境講演会**】

環境講演会では講師、北野大氏による「地球環境を救う新しいライフスタイルへ」のお話です。講演中は弟の北野武氏のお話も交えながら質問に答えた方にサイン色紙や本のプレゼント！などの楽しいお話で会場はたくさんの笑いでいっぱいになりました。そして環境のために新しいライフスタイル、物の価値観を変えよう！物の豊かさから心の豊かさへと変えようと環境について真剣にお話してくださいました。

【第三部 大賞受賞団体の活動報告会】



コベルコ建機、清泉女子大学 福祉環境委員会 「五反田綺麗にし隊」の2団体による活動報告が行われました。どちらも、町を綺麗にしたい気持ち、環境をもっとよくなりたいという気持ちが溢れる報告でした。

【インタビュー】



今回、大賞を受賞した清泉女子大学福祉環境委員会「五反田綺麗にし隊」のお二人にインタビューさせていただきました！

●この活動をしようと思ったきっかけは？

*何かやっているのかと聞かれた時に「これからやりたいと思う」と言うだけでなく実

際にボランティアをやりたい、大学生活で何かやりたい思い…後、人の喜ぶ顔が見

たくて始めました！

*兄が大学の時にボランティアをしていて、その姿がとてもイキイキとしていたのです。

楽しさを聞いて実際にやった事がなかったので疑問を持ち興味から始めました。

●この活動を始めて自分が変わったと思う事は？

*前よりも環境について考えたり、気遣うようになりました。相手の事とかも考えられる

ようになりましたし、世の中や周りの人は優しい人がいっぱいいる事を実感できまし

た。

*私は出会いです！！地域の方や学内の付き合いがなかった事がない人、出会った事がない

ような価値観を持っている人と出会う事、触れ合う事で自分にも新しいものを取り入

れ、考えを持てるようになりました。また人との出会いによってそこからまた新しい出

会いが生まれ、人との人脈ができたり、大切さ楽しさ素晴らしさを学びました。

●その出会いの中には協力してくれない人もいますか？

* * 白い目で見える人もいますが、そういう人達はキツカケがないだけなんです。だから

私たちの活動を知ってちょっとでもポツと心に火をつけてもらうためにも積極的に

呼びかけています。

●最後に受賞の感想を！！

* 素晴らしい賞を受賞できて本当に嬉しいと思っております。皆さんに応援や、支えて

貰ったから受賞できたのだと思います。皆さんには本当に感謝の気持ちです。

* たくさんの方の協力、参加があったからこそやってこれたのだと思います。また、人数

が少ない（学生と地域の方が主体になっている）のでチームが無くなってしまいう危機

感があったのですが、私たちが広めていくことで参加者も増えてここまで有名になれ

た事、賞に受賞できた事は本当にありがたいと思っております。でも、これに満足する

事なく五反田だけではなく日本...世界が綺麗になってほしいと思っているのもっと

もっと多くの人に美化意識をもって頂きたいと思っております。

お二人ともお忙しい中、ありがとうございました。インタビューをして、頑張っている事がたくさん伝わってきました。この活動は環境だけではなく、自分も成長させてくれる物なのですね。本当に素晴らしい活動です。是非、世界一の団体！目指して頑張ってください。

たくさんの方の団体の方が多くの環境活動をしている事がわかり「自分ももっと何かやらなきゃいけない」と、気持ちが高まるイベントでした。今回、参加できなかった方も積極的にこのようなイベントにふれてみてはどうでしょうか。頑張っている人を見ると自分も頑張りたいかなと思いますよ。そして、受賞した団体の皆様おめでとうございます。この賞がさらに皆様の活動の励みになると思います。これからの活躍も期待しております。

カテゴリ：平成19年度

投稿日：2008年02月28日